

2016年3月期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社
(証券コード：3682)
2016年5月10日

目次

1.2016年3月期 決算概要

2.2017年3月期 業績予想

3.2017年3月期 重点施策

4.参考資料

目次

1.2016年3月期 決算概要

2.2017年3月期 業績予想

3.2017年3月期 重点施策

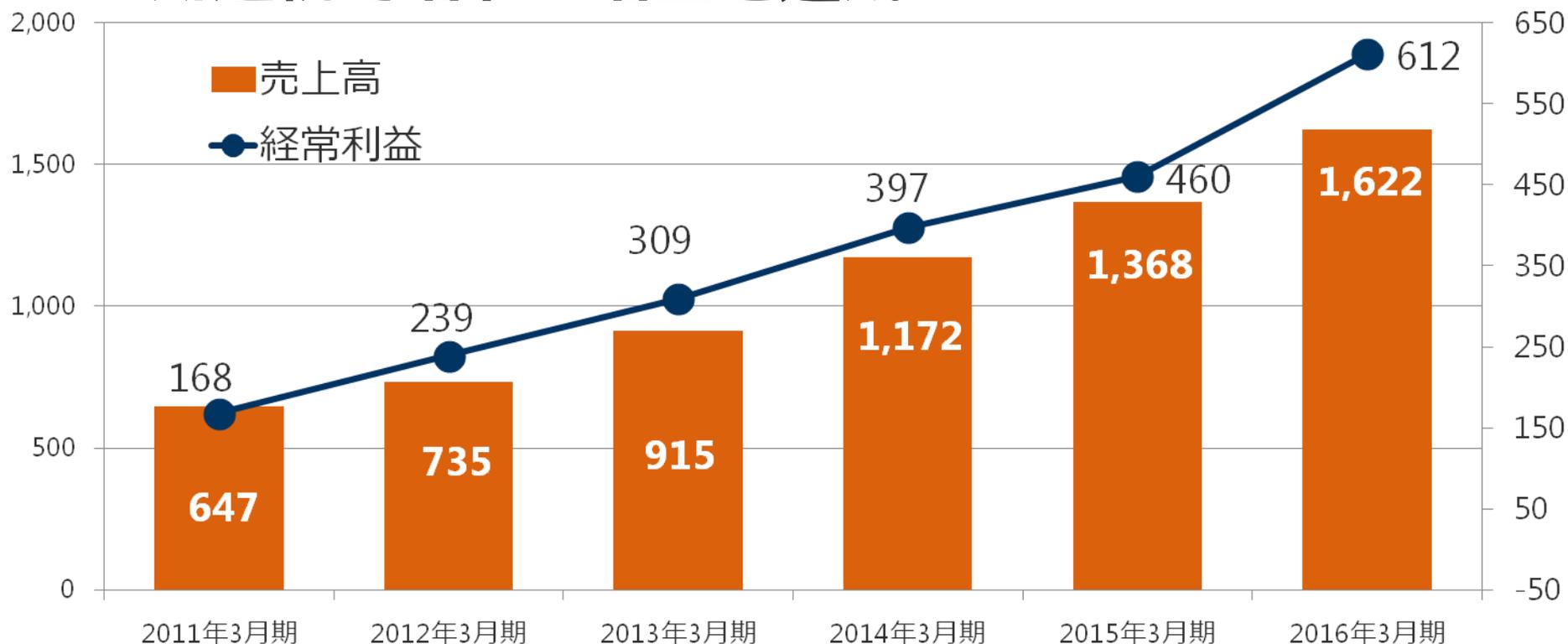
4.参考資料

2016年3月期 ハイライト①

売上高が順調に拡大し、利益も伸長。

5期連続で増収・増益を達成

(単位：百万円)



2016年3月期 通期実績

	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	対前期比
売上高 (百万円)	1,368	1,622	18.6%増
営業利益 (百万円)	454	612	34.6%増
経常利益 (百万円)	460	619	34.7%増
当期純利益 (百万円)	318	430	35.2%増
一株当り当期純利益 (円)	95.77	124.63	30.1%増

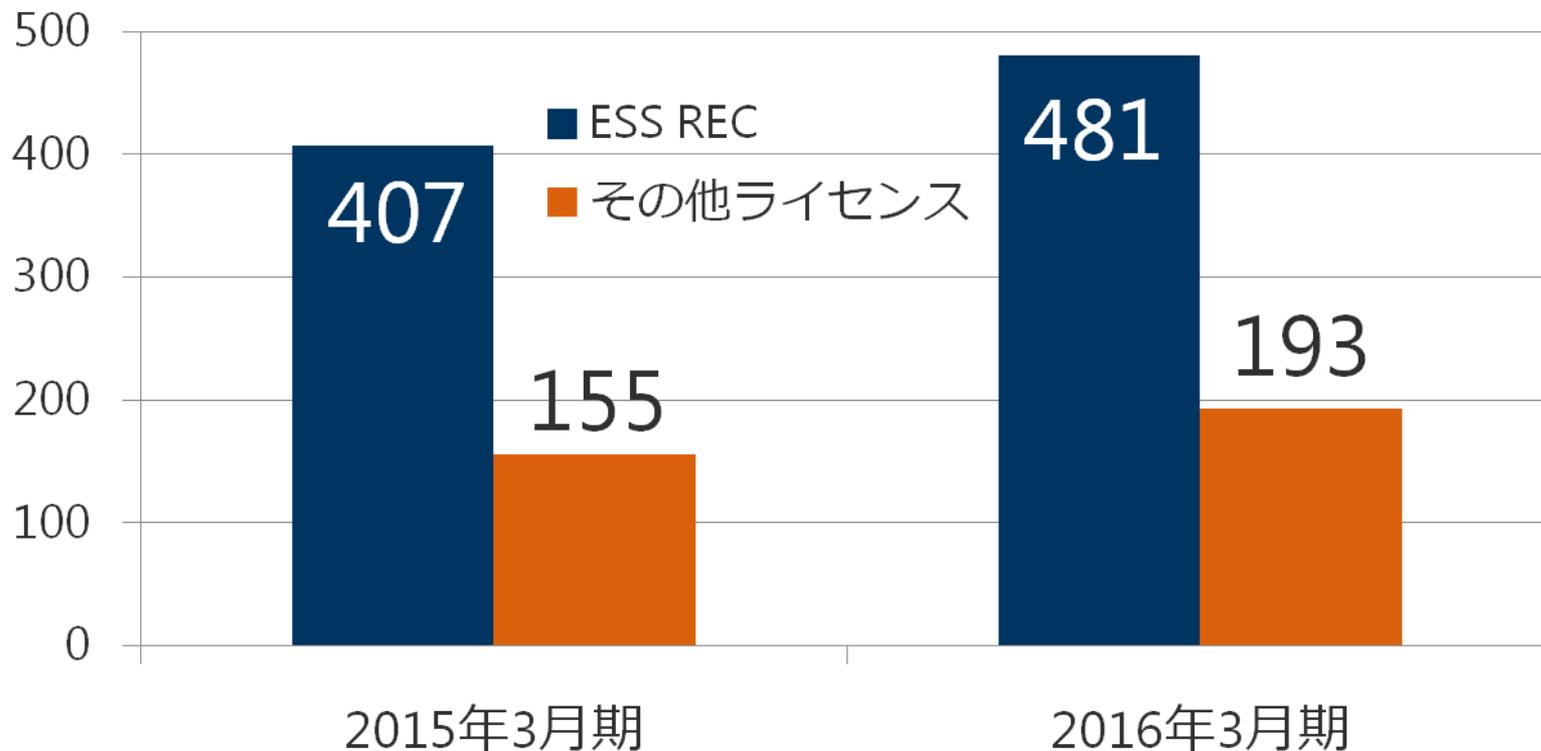
売上構成 対前期比較

(単位：百万円)

構成項目	モデル	2015年3月期	2016年3月期	対前期比 増減率
ライセンス	フロー型	563	675	19.8%増
保守サービス	ストック型	570	695	21.8%増
コンサルティング	フロー型	106	127	19.6%増
常駐サービス	ストック型	63	59	6.5%減
クラウド	ストック型	6	13	96.6%増
その他		57	51	9.5%減
売上高合計		1,368	1,622	18.6%増

ライセンス売上 対前期比較

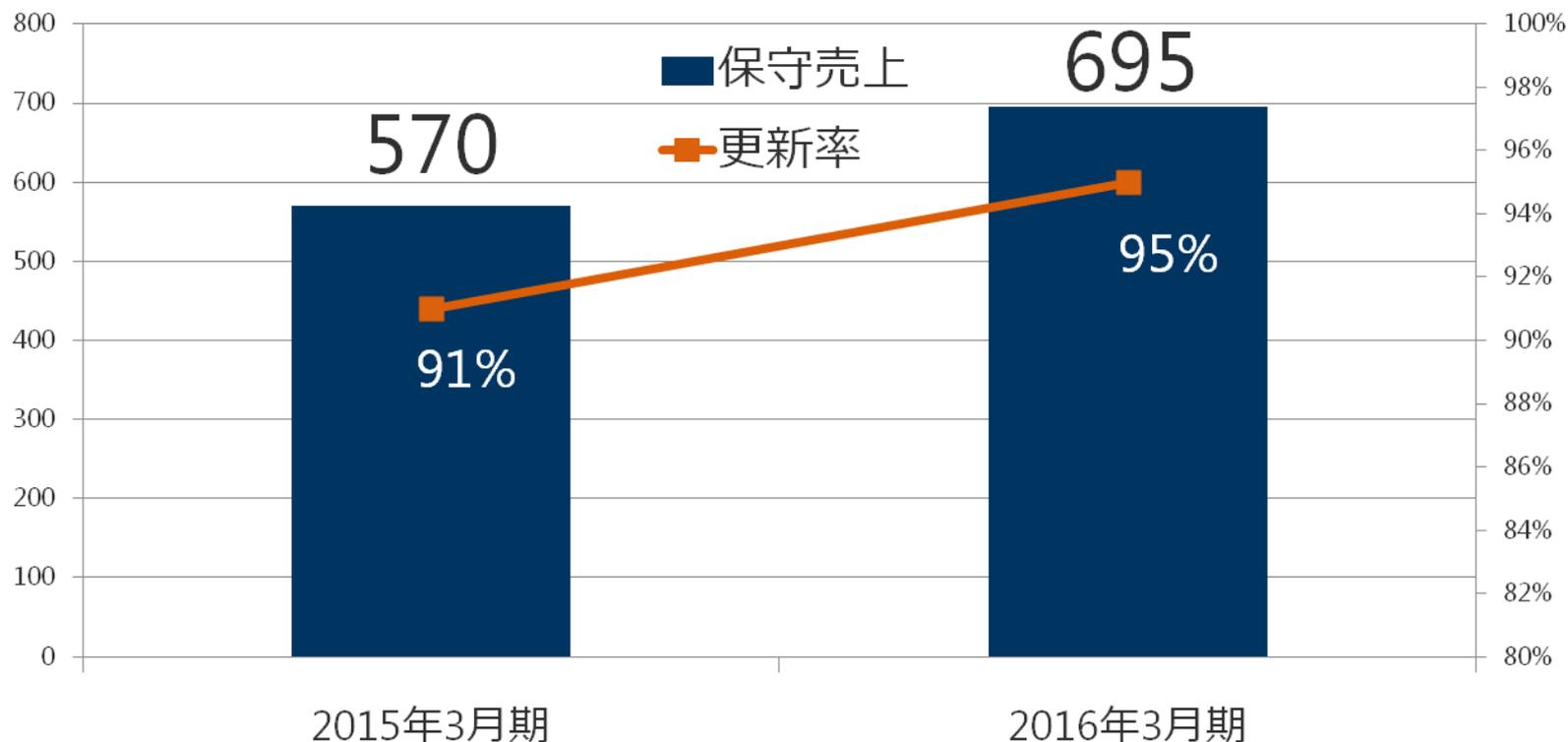
(単位：百万円)



- ・ ライセンス売上は対前期比+19.8%の伸び
- ・ ESS RECは引き続き堅調な売上の伸び (対前期比+18.1%)
- ・ その他ライセンスは対前期比+24.2%の伸び。

保守サポートサービス売上 対前期比較

2016年3月期通期にて保守更新率95%を達成



2016年3月期 ハイライト②

- **マイナンバー対応の特権ID&証跡管理製品**
「ESS AdminGate VA」を5月に発表、7月販売開始
 - マイナンバー安全管理措置に対応
 - 小規模なシステムにも適用可能な価格でご提供



2016年3月期 ハイライト③

■ 株式会社アクロテックを子会社化

- 2016年4月1日に株式会社アクロテックの全株式を取得
 - ・ ソフトウェア開発技術者の連携強化
 - ・ 新技術に特化したソフトウェアの開発支援



参考：	
株式会社アクロテック 概要	
所在地	東京都千代田区
設立	1997年2月
資本金	10百万円
売上高	256百万（2015年3月期）
社員数	36名(2016年4月末日)
うちエンジニア	34名

2016年3月期 ハイライト④

売上増加に伴い、当期純利益が計画の329百万から
430百万となりました。

配当性向20%を目処に、前期より

6円増配の25円を実施*

*2016年6月24日開催予定の第14回定時株主総会に
付議する予定です。

貸借対照表

(単位：百万円)

	2015年3月 期末実績	2016年3月 期末実績	対前期比	主な増減要因
流動資産 (うち現金および預金)	2,525 (2,288)	3,014 (2,746)	19.3%増	現預金 458 売掛金 24
固定資産	201	189	6.0%減	
資産合計	2,727	3,203	17.5%増	
流動負債	458	554	20.9%増	前受金 64 未払金 14
固定負債	25	25	0.2%増	
純資産	2,243	2,623	16.9%増	当期純利益 430 資本金・資本準備金 15
負債・純資産合計	2,727	3,203	17.5%増	

目次

1.2016年3月期 決算概要

2.2017年3月期 業績予想

3.2017年3月期 重点施策

4.参考資料

2017年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	2016年3月期 実績 (単体)	2017年3月期 Q2累計予想 (単体)	2017年3月期 通期予想 (単体)	2017年3月期 Q2累計予想 (連結)	2017年3月 期 通期予想 (連結)
売上高	1,622	850	1,850	970	2,080
営業利益	612	241	555	230	550
経常利益	619	242	560	230	555
売上高 経常利益率	38.2%	28.5%	30.3%	23.7%	26.7%
当期純利益	430	163	379	150	370

売上構成別 予想（対前期比較）

（単位：百万円）

構成項目	2016年3月期 実績 (単体)	2017年3月期 Q2累計予想 (連結)	2017年3月期 通期予想 (連結)
ライセンス	675	356	763
保守サービス	695	383	822
クラウドサービス	13	12	31
その他	51	18	37
パッケージソフトウェア事業計	1,435	769	1,653
コンサルティングサービス	127	50	130
SIO常駐サービス	59	30	66
システム開発サービス	—	120	230
コンサルティング事業計	186	200	426
売上高合計	1,622	970	2,080

目次

1.2016年3月期 決算概要

2.2017年3月期 業績予想

3.2017年3月期 重点施策

4.参考資料

外部環境

新FISC基準

サイバー
攻撃対策

マイナンバー
安全対策

クラウドの
セキュリティ



金融
業界

大手金融機関～
信用金庫・農協・漁協
までも対象

内部対策として
特権IID管理の重要性が増加
している

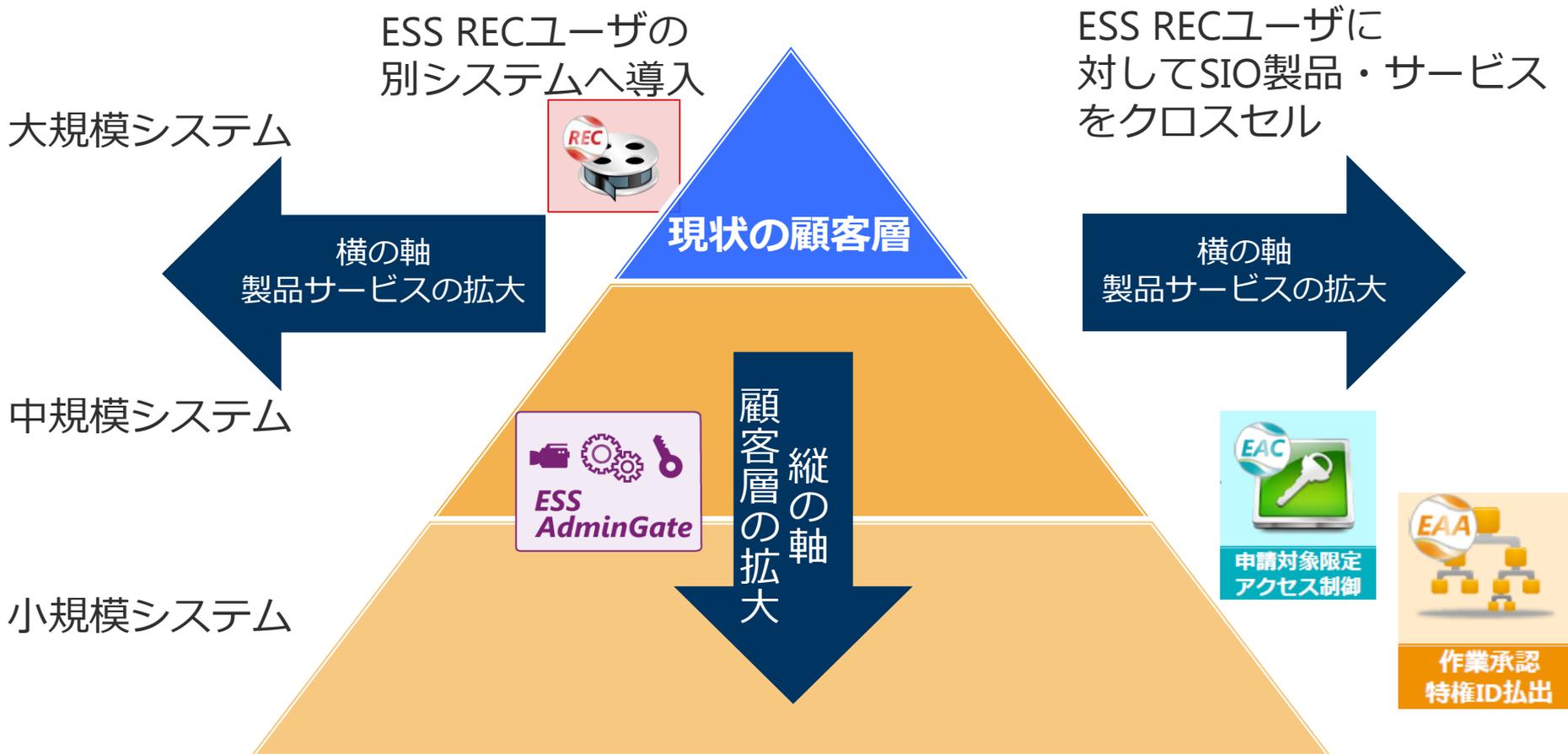
全
業種

制度対応が先行しているが
医療分野などへの拡大利用
が見込まれる

重要システムのクラウドへ
の移行が進んでいる

販売戦略

横軸で製品・サービスの横展開、縦軸で顧客層の拡大



2017年3月期 重点施策

事業拡大に備えた人材への投資

ソフトウェアパッケージ事業の拡大（横軸への展開）

クラウドサービス事業の推進（縦軸への展開）

保守サポートサービス契約更新率の維持向上

2017年3月期 重点施策

事業拡大に備えた人材への投資

採用強化と人材定着

中途採用の強化

- 連結期末人員139名を予定（単体 前期末70名）

階層別教育・専門教育等による能力向上

- 教育選任者を配置し、お客様視点で新たな価値を生むことができる人材を育成する

定着率向上施策(処遇改善)の実施

- 福利厚生の充実（確定拠出年金制度等の導入）
- 給与水準引き上げ（賞与制度等の導入）

2017年3月期 重点施策

ソフトウェアパッケージ事業の拡大 (横軸への展開)

ESS RECによる新規開拓および追加導入

ESS RECとの連携を活かしたSIO製品の追加導入

- 背景：
- ・ 内部不正対応の認知度向上
 - ・ IOT活用の拡大
 - ・ 金融庁検査マニュアル改定等によるセキュリティ対策強化
 - ・ マイナンバーの安全対策
 - ・ サイバー攻撃の増加

2017年3月期 重点施策

クラウドサービス事業の推進 (縦軸への展開)

DC/クラウド事業者とのサービス協業の推進

メジャーなセキュリティイベントへの出展等により認知度向上

主要代理店へのEAG取扱推進および新規取扱代理店の開拓

新たな販売モデル（システム）の構築

- 背景：
- ・重要システムのクラウドへの移行による安全対策の必要性
 - ・マイナンバーの安全対策

2017年3月期 重点施策

保守サポートサービス契約更新率の維持向上

保守更新率95%を維持・向上させる仕組み作り

製品の利用・活用方法をPRする活用塾セミナーの定期開催

サポートに関するWebコンテンツや情報発信の充実

重点顧客に対するサポートの強化(顧客プロファイルの充実)

目次

1.2016年3月期 決算概要

2.2017年3月期 業績予想

3.2017年3月期 重点施策

4.参考資料

2019年3月期までの3ヶ年において掲げる経営目標

- 経常利益率30%以上(連結)
- ライセンス売上対前期比20%UP
- クラウドサービス事業（EAG）の全社売上高20%（単体）
- 次世代版SIO製品リリース
- 保守更新率95%
- 株主還元（配当性向25%を目指す）
- 市場変更（東京証券取引所一部への市場変更を目指す）

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスクおよび不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。